

新たなスポットがオープン

行ってみよう 行徳・妙典 エリア

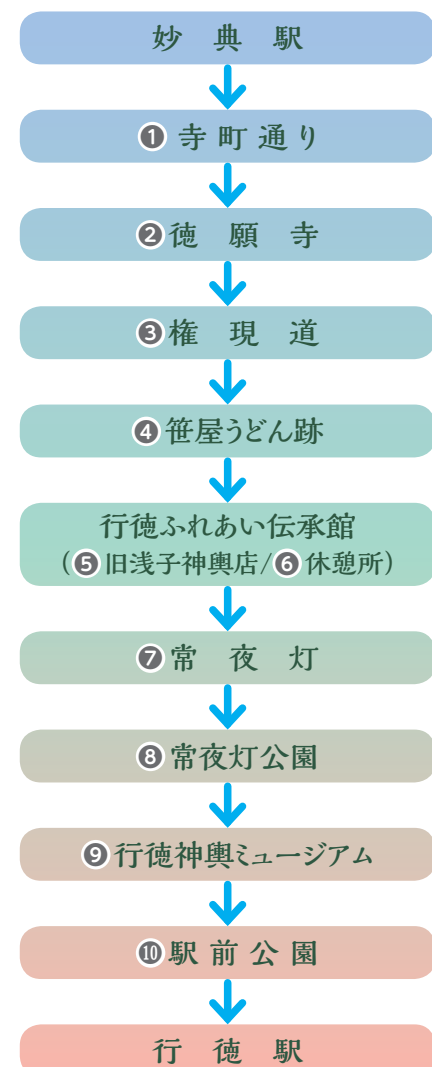


見……《見 る》
遊……《遊 ぶ》

行徳・妙典エリア他市内のおさんぽマップが載っている市川Walkerを市役所、行徳支所などで配布しています。また、より詳しいまち歩きには、文化振興課、行徳支所で配布の「文化の街かど回遊マップ」もあります。



モデルコース
(移動所要時間 徒歩で約1時間30分)



地域の方に聞きました

子育てママにも住みやすい

山崎 展子さん

結婚を機にこのエリアに住んでいます。近所に大きいスーパーや、公園やこども館などの子育て施設があり、子育て世代にも住みやすい場所だと感じています。子どもは、江戸川放水路そばの電車の車両基地や、妙典公園から見える東西線の電車に喜んでいます。旧江戸川という自然も近くにあり、常夜灯公園は大人にとっても気持ちの良いスペースです。



行徳地区は、古くから塩づくりと水運で栄えた他、寺社が多くあり、神輿作りも盛んに行われていました。現在でも行徳街道沿いに寺社や旧家が立ち並び、「寺のまち」「神輿のまち」として知られています。

今月、歴史ある行徳地区に「行徳ふれあい伝承館」がオープンします。今号では行徳・妙典エリアの主なスポットを「見る」「遊ぶ」に分けて紹介します。この機会に巡ってみませんか。

☎300-8020文化振興課 ⑧⑩⑪は☎712-6366公園緑地課

7 常夜灯 見

1812年、航路安全を祈願して建てられました。市の有形文化財第1号に指定されています。



8 常夜灯公園 遊

地域の方の憩いの場になっている他、旧江戸川沿いをサイクリングする人の休憩場所にもなっています。公園内の売店ではコーヒーの他、そばやコロッケなどを販売しています。人気メニューのカレーは昼過ぎには売り切れることも。



歴史ある行徳の文化を伝えて

行徳まちづくり協議会 崎崎 進さん

生まれも育ちも行徳で、行徳のまちの移り変わりを見てきました。今回、旧浅子神輿店の展示企画に携わっている中で、浅子神輿はもともと仏師として全国的にも有名で、成田山や中山法華経寺とも深い関係があったことが分かりました。

行徳ふれあい伝承館ができることによって、市内だけでなく市外の人にも、行徳のまちの成り立ちや、行徳の文化を知ってもらえるのではと思っています。



4 笹屋うどん跡 見

現存する建物は、1854年に建てられたといわれ、源頼朝が笹屋のうどんを食べたという伝説が残っています。建物内の一般公開はしていません。

妙典

法華経の経典が、日蓮の唱えた「南無妙法蓮華経」のごとく、妙なる経典であるといわれたことに由来する、ともいわれています。

地名の由来

7月21日(土) 行徳に新しいスポット 「行徳ふれあい伝承館」がオープン

行徳ふれあい伝承館は、地元の方で組織した行徳まちづくり協議会の協力のもと、行徳地域の歴史・文化を伝える展示やまちの案内を行う「旧浅子神輿店」と、まち歩きなどのお休み処として利用できる「休憩所」の2つの施設があります。

【施設概要】

開館時間 午前10時～午後5時
休 館 日 月曜日(祝日の場合は翌平日)
年末年始

☎300-8020文化振興課

5 旧浅子神輿店 見 (本行徳35-7)

浅子神輿店の創業は室町時代末期と伝えられ、代々「浅子周慶」の名を襲名してきましたが、2007年に廃業。建物は2010年、国の有形文化財に登録されました。この度、旧浅子神輿店を改修して神輿やジオラマを展示し、行徳の伝統的な祭りなどを紹介する施設として公開します。

妙典公園 ⑪

オープン記念イベント

7月21日(土)午前10時～午後3時

行徳ふれあい伝承館とその周辺でイベントを行います。

- ・お雛子とともに子ども神輿も含めた神輿が出ます(午前11時～正午)
- ・鬼子母神像(浅子周慶作)の公開(本久寺)
- ・行徳街道沿いの木造建物見学ツアー(1日2回。午前10時30分・午後1時30分から)
- ・スマホを使ったミニまちあるき
- ・子ども向けの遊び
- ・かき氷などの販売
- ・伝承館周辺の神社で本殿を公開など



6 休憩所 (本行徳37-13)



▲山本高樹氏制作のジオラマ

トイレ(多目的有り)などがありますので、散策時の休憩場所として利用してください。

10 駅前公園 遊

樹木の多い公園で噴水もあります。毎月第2日曜日(8月を除く)にはミニSLも運行(無料/雨天中止)。



11 妙典公園 遊

東西線の電車を間近で見ることができ、春には河川敷に咲く河津桜が楽しめます。

